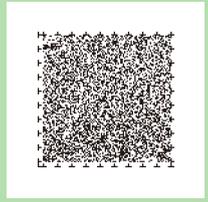




「教室や大会で競技を楽しんだり笑顔でお話しされている光景を見るたびに協会を立ち上げ、活動できることに喜びとやりがいを感じています。」と話す山口会長。



鹿児島県ボッチャ協会会長

【山口 義明】さん

悔しい時も達成した時も全て
素敵な笑顔で。

「ボッチャ」は東京パラリンピックで日本人が金メダルを獲得し、国内で大きな盛り上がりを見せた今注目のパラスポーツです。ジャックボール（目標球）と呼ばれる白いボールに6球ずつのボールを投げたり転がしたりして、いかにジャックボールに近づけるか頭脳を使う競技。健常者・障害者隔てなく誰でも参加でき、重度障害者のスポーツ競技の参加を可能にしました。「一番の大きな魅力は、駆け引き・戦術を考え、一発逆転が出来るということだ」と思います。ミラクルな打球が出ると会場は大きく盛り上がるんです。」と目を輝かせながらお話しされる会長の山口さんは現在、鹿児島市教育委員会に勤務されています。

以前には牧之原養護学校の校長も務められており、障害者の自立と社会参加を常々考えられているとのこと。「障害のある児童が養護学校卒業後、余暇をどう充実させるかということは大きな課題の一つ。引率者ではなく、一市民として障害者スポーツに関わるようになり、改めてその魅力を感じま

す。社会人として立派に自立している本人だけではなく、保護者や他の参加者と競技を楽しみながら、熱く競っている姿の前に大きな喜びを感じています。」と障害の有無に関係なく素敵な笑顔があふれるパラスポーツの交流の素晴らしさをお話しいただきました。

かごしま大会をサポートします！

県ボッチャ協会の設立に向けて活動が始まったのは、2020年9月。ボッチャが全国障害者スポーツ大会の正式種目となり、2023年のかごしま大会でボッチャの受け入れ体制が必要になったことがきっかけ。「東京パラリンピックの選手の活躍にも大きく感動しました。県障害者スポーツ協会の指導を頂きながら、審判・指導者等の育成や県内のボッチャ普及に励んでいます。また、審判技術向上を図るとともに、ボランティアの育成等にも力を入れています。今年のとちぎ大会を参考に、運営シミュレーションを積み重ねて、全国からの選手や関係者のおもてなしができるように準備していきます。」と来年のかごしま大会に向けて始動しています。会員は、会社員や特別支援学校・大学等の職員、障害者スポーツ指導員、学生や主婦など26名で活動中。現在は、毎月第4土曜日にボッチャ教室を開催しています。最後に、鹿児島県のボッチャの展望をお聞きしました。「ボッチャは誰でも参加できます。普及拡大へ向け各地で教室を開催し、将来的には全国障害者スポーツ大会やパラリンピックで活躍できる選手の育成に、県ボッチャ協会として関わることが大きな望みです。」現在、注目の集まるパラスポーツ。選手の活躍に今後も目が離せません。



ボッチャ競技の道具は貸出も行っていきます。興味がある方は県障害者スポーツ協会までお問い合わせください。

鹿児島県ボッチャ協会
(鹿児島県障害者自立交流センター内)

〒890-0021 鹿児島市小野1丁目1-1 ハートピアかごしま3階
Tel : 099-218-4333 FAX: 099-220-5420
E-mail: heartsyougai@heartpiakagoshima.jp

